

[ジオシティーズ容量大幅アップ](#)

看護求人／病院のウワサが聞ける

kango.919.co.jp

29歳の看護師さんの場合《月給40万円／残業ほとんどなし》

インタレストマッチ - 広告の掲載について



看護

● 看護 目次

○ 永生病院

<http://www.eisei.or.jp/>

○ 春日居リハビリテーション病院

<http://www.kasugai-reha.com/>

○ 日医大多摩永山病院

<http://www.nms.ac.jp/pr/hp/hpcon/tamahp/hp-07f.htm>

見たい病院を、クリックして下さい。

● 日医大多摩永山病院

<http://www.nms.ac.jp/pr/hp/hpcon/tamahp/hp-07f.htm>

看護婦による看護である。看護の質が高い。経験した3つの病院で最高である。

1. 尿瓶を頼んだら『トイレに行こう！』と言った看護婦さん。本当は私もトイレに行きたいんだ。でも、ベットから起こしてもらい、車椅子に乗せてもらい、トイレに連れて行ってもらい、便器に座らせてもらうのは頼めない。忙しいんだから。でも、この看護婦さんは、いつも『トイレに行こう！』。このイントネーションが優しい。
2. お風呂で体を洗ってくれた看護婦さん。私の自宅近くのアパートに居ると言う。言葉に優しさがある。タオルで拭きただけなら自分が楽なのに。
3. 4月に入ったばかりの看護婦さん。勤務が終わるとナースステーションで”のこべん”で試験勉強。誰も居ないとよくトイレに連れてってくれる。自分の仕事ではないのに。
4. 気の強い看護婦さん。余り他人と気が合わないようだ。よくお昼を休憩室で食べさせてくれた。
5. 中国から来た看護婦さん。皆に平等でした。気が強いけど優しいね。

[戻る](#)

● 春日居リハビリテーション病院

<http://www.kasugai-reha.com/>

看護婦と家政婦(ヘルパー)による看護である

- リハビリのできない人は帰ってもらうので、看護婦さんの仕事は余り無い。入院患者の日常は家政婦(男女)が行う。いい看護婦さんは数人、後は免許があるだけの看護婦さん。
- 家政婦のおじさん、おじいさんがよくやる。とても優しい。おばさんは、いい人は数人のみ。ロウるさいおふくろタイプ。看護には向かない。若い女の人もいい人は少ないが男はいい。全員男の家政婦にするといい。

★熱いお茶:

一緒に仕事をした事の有る営業さんは、喫茶店での注文は、必ず「アツい ミルク」だったっけ。
懐かしい・・・
これは、「アツい お茶」の話です。

'99/7/11(日)の夕方でした。来週、1泊での外泊の許しが
出て、嬉しかった頃・・・
その日は、若い男のヘルパー(この人、几帳面で丁寧で、私は花
○)が1Fの3室に夕食の準備を始めた。

まず、1Fの、談話室に有る湯沸器から、大きなヤカンに2つ熱
湯を入れ、持って来る。
患者全員、2個ずつ持つプラスチックのコップに分け与えた。
準備OK、後は、夕食が出来た頃、コンテナを取りに行けばい
い。

私は、車いすに乗って居た。
あれ、左足が熱い！と、感じた・・・熱いコップを こぼしたら
い？・・・あわてて側にあったタオルで拭いた。
隣のベットの人の知らせで、ヘルパーも来てくれた。
手が右足に触れた・・・アツ、熱い！慌てて拭いた・・・右足は火傷
(ヤケド)で赤くなっていた。

隣のベットの人の指示で、ヘルパーにバケツに水を持って来さ
せ、足を浸けた。天井にある、マイクで看護婦に連絡してくれた。

しばらくして、看護婦が来た・・・開口一番・来週の外泊、だめだ
ね??!!!

この言葉、看護婦さんに、呆れました！

私は、右目に視野狭窄があるので、見えない部分があります。
永生病院に入院し、お茶の温度を見ると、ぬるま湯です。

前に話した営業さんは、不満でしょうが、これこそが、満点の看
護ではないでしょうか？
でも、看護婦の言葉には傷付きました。

====

* NEW!「お茶で やけど」については:

■ PDF (「お父さん がんばって！」(4) [春日居リハビリテーシ
ョン病院② 1999/7/1~31]) : (1999/7/12 (月)) の項をご覧ください！

====

★売店:

病院の売店の質が貧弱です。この売店、病院の敷地内に住居
を持つ、奥さんの経営だと思えます。私が入院していたとき、夏

休みとして、連続、1週間休んだのを見ました。仕事を、どう考えているのか？・・・疑問です！入院患者に夏休みはありません。

売店が、リハビリに行く廊下に面しており、買い物は廊下でするので、ここが、混み合います。商売するには“好い場所”ですが、通行する人に取っては、買い物の人が邪魔です。特に、皆、車椅子ですので、巾を取り、避けられません。

★便所掃除・ゴミ屋さん：

私が、この病院を余り薦めないのは、問題を解決して“良い病院にしよう！”と、云う、動きが見えないからです。その、一つが、便所掃除とゴミ屋さんです。便所掃除は毎日、2～3人の男の人が、ゴミ屋さんは足に障害のある、おじさんがやりますが、時間が掛かり、スマートさが、ありません。東京デズニールランドの歌い文句は、“スマートな掃除”だと云う事を！10時になると、売店のおばさんから、缶ジュースを貰い、一服しているのも気になります。

[戻る](#)

● 永生病院

<http://www.eisei.or.jp>

○ [介護病棟]では、リハビリはやらない様です！

おばさんが永生病院に入院して、8ヶ月過ぎる頃、病室が、[介護病棟]に移った。
リハビリの先生は、OTの一人だけ・・・11時半になると、食堂に座わせられる。

その時分、私のリハビリの前に、おばさんを見舞い行った。
おばさんの前に座る奥さんが、「私には、何にもしてくれませんかよ！」と、云っていた。

11時半になると、「そろそろ、食堂に行く！」と、云って、右の運動靴を履いた。左は足が上らず届かないので私が履かせた。自分で、ベットから、車いすに移った。“おばさん、凄い！”と、私は云った。

でも、何か変だ？ 柵の向きが逆だよ！
私は右が悪いので、これでいいけど。

若い看護婦さんに来てもらい、柵を逆にする様云った。
帰りがけ、整形で知っている看護婦さんが居たので、又、頼んだ・・・すると・・・
「・・・さんは車椅子から自分で動き、何回か落ちました。だから、先生(医者)と話、ご家族に了承してもらい、自分の移動は禁止しています！」「ご家族に了承してもらっています！」と、ばかに強気！

“そうなら、その様な看護をしたら！ 靴を履くのに、何もフォローは無かったよ！”と、私は云った。

幾日かして、家族が看護婦に、「親戚の人に、酷いことを言われました・・・」と、云われたらしい。
イトコも、私が五月蠅いから、言わないが、おふくろに言う様だった。

この理論、大きな間違いは、病院・家族にある。
つまり、“病人は分からないから仲間に入れない！”と言う考え方だ。

私は病気になり2年間近く、失語症で言葉が無いし、医
 者も説明するのに手間を食うので割愛したのだと思う。
 失語症でも、人の言葉は分かるのです。
 1部の、医者・看護婦は、理解していません。

その点、日医大永山病院
http://tamah.nms.ac.jp/category_g/neurosurgery/
 脳外科の先生は分かっています。
 だから、説明が分かります。

永生病院<http://www.eisei.or.jp/>の[介護病棟]に移り、若
 し、車いすを自分で動かせるなら、永生病院を退院し、前
 の、永生クリニックhttp://www.eisei.or.jp/clinic_g.htmで外
 来のリハビリをした方が、いい結果が出ると思います。

外来で初めの1年間は、PT・OT・STのリハビリが毎週出
 来ます。(私は、言葉は出来ませんでした、STは、やりま
 せませんでした—リハビリ参照
<http://www.geocities.jp/chinkeira/rihabiri.html>)

介護病棟にリハビリは無い様です。
 分かったことは、看護婦に文句を言った言葉通り、“3回メ
 シを食うだけじゃ～あ～ねえか！・・・”で良いようです！ 幻
 滅!!!

★★介護療養型病棟とは

おばさんは、オムツではありません。
 [介護病棟]に入る基準は、何なのでしょう？
 保険が「医療保険」でなく、「介護保険」だそうですが？

おばさんは、リハビリがしたくて入院しています。“オシメ”
 をしてくれとは云っていません。

- 看護婦と家政婦(ヘルパー)による看護である。
 看護婦、士がクールである。温かみがない。

でも 今日、素晴らしい看護婦さんに2年振りで愚然会い
 ました。前は手術室の担当でした。部屋の 替わった友達
 に会いに行った所、ナースステーションで私の声を聞いて
 友達の病室に来てくれました。手術の前後の2～3度会っ
 ただけです。部分麻酔でやると言う先生について”先生に
 たのんで、全身麻酔にする方ががいいわよ！”と勧めてく
 れました。

”声を聞いてすぐ分かったよ。元気になってよかったね！
 前は手術室の勤務で、患者さんと接触することはあまり無
 かったけど、今度はここの担当です。”
 クールな永生病院にもこんな素敵な看護婦さんが居ます。

看護とは、こうあるべきです！

- 家政婦も看護婦同様クールである。温かみがない。特に経
 験のある人が要領を使いさぼる。若い人は良くやる。

戻る

■当ホームページはフレーム機能を使用しております。

左にメニューが表示されない場合は[こちら](#)をクリックしてください。

制作・管理: ケンイチ  “脳出血との闘い—看護”